

一樹が行く! 「沖縄カスタムカーショー2017」



僕が大好きな沖縄で初開催されたカスタムカーショー(1/28-29)に行ってきました。会場には外国人サンがいっぱいでビックリ。東京オートサロンとは全然違う雰囲気新鮮で楽しかったです。しかし、沖縄でのKブレイクの認知度はまだまだだと痛感。大好きな沖縄でも通用するように頑張ります。



【宮城県】植村紘也(26) 18CROWN



エアロはワンオフ。フロントはもちろん、リアのインパクトも凄い。すでに内装とオーディオもやっているが、今後、変更する予定。新時代のモンスターを目指す!

群を抜く派手な外装。一回見ただけで、見た人の記憶に残る個性的なクルマだと思います。実は小技もしっかりやっていて、日章旗仕様のプレーキも好印象。あと、フェーラーR430風に作ったミラーもかなり気に入りますね。後ろ、ちゃんと見えるの?



【鹿児島県】柿内英紀(27) 200MAJESTA

エアロはブレンを選択。フロントリップにはLEDを追加し、X10風に仕上げて見所。ホイールはプロフェッサーMS1の20インチ。足まわりは純正エアサスで、リムが被るまでベタベタに。このクルマには低さ重視のツラウチ仕様もお似合いだ。



計算されたドレスアップ

ボディはブラック基調。ゆえにイカツさ満点。この仕様の難しさは、どこまで黒くするか。そこにセンスが出ますよね。僕ならグリルや窓枠も黒くするか。もちろん、単なる黒じゃなくて、ブラックメッキでね。次は内装に挑戦予定。統一感を出すのか、それともギャップ狙いか。完成、楽しみにしてますよ!

大林サン太鼓判のセンスある4台 新時代のモンスターに期待大

ているだけあるなって思いました。そして、いつか食べ比べをしましょうね(笑)。僕はね、45歳の食欲とは思えないほどよく食べます(笑)。3人目は植村クン。「テーマはオレのカチ。激戦区の18系で、誰とも被らない仕様を追求しています」ですって。このクルマはイベントでチェック済みなんですけど、アンケートに書かれている通り、噛みつきそうなんだがポンプン。

次は内装に挑戦予定で、「二人乗り仕様にして、開いたスペースでオーディオをやりませう!」。凄いなあ。だとしたら、ちょっと言っちゃおうと思っただけです(笑)。外装はもっといっていいんじゃない? フェンダーをどっかーんって。そういう仕様はVIPじゃないとか、言う人は言うけど、突き抜ければ誰も文句は言わない。VIPには時代ごとにモンスターと呼ばれるクルマがあるんだけど、どうせやるなら、そんな歴代のモンスターたちを目指して欲しいな。今後もオレ流を貫いて、ぜひ、凄い一台を完成させ



【鹿児島県】高城龍生(24) 200CROWN

ボディカラーで個性を出した一台。この日は雨だったんですが、そんな中でもしっかり目立ってるっていうのも、この若草色の長所かなって思います。僕的に最近、鹿児島VIPが熱いって思っているんですけど、ぜひ、そんな中で頭角を現して欲しいな。次に挑戦するプリスターも楽しみにしてますよ!



エアロはJOBデザインをフル装備。ホイールはエイムゲインGⅢSの19インチを選択。フロントはキャンパーアダプター、リアはナギササートのアーム入りで、足まわりにも力を入れている。

投稿募集中

「僕も大林サンに愛車を評価して欲しい!」そんな風に思った方は、ぜひ、編集部写真とアンケートを郵送してください。大林サンが愛情をたっぷり添えて、キミのクルマを全国の人に紹介してくれますよ。

たくさんの投稿、待ってます!

K-BREAK

てくださいな。ラストはJOB仕様のクラウン。必見は何と言ってもボディカラーで、これは210系の若草色。昔からVIPをやっている僕としては、高級車がこういう緑色を純正色として設定している、っていうのが驚き。この手の色はマーチとか、そういうクルマの色でしたからね、昔は。だけど、今は時代的に全然あり。それに、やっぱりクラウンの緑っていうのもあって、品もありますね。高城クン曰く、「Kブレのウイングが欲しい欲しい、欲し過ぎます」って。ぜひ、買ってください(笑)。ウチは1Pと3Pの2つをラインナップしているんですけど、次はプリスター仕様にする予定で、ことなんで、それを踏まえて3Pがオススメですよ!

最後に、各ショーのKブレイブにきてくれた皆さんにお礼のメッセージ。今年も遊びに来てくれてありがとうございます。そして、新作LSはいかがでしたか。エアロはシンプル、バーフェンはド派手。そのギャップにやられたって方、まんまと僕の作戦にハマりましたね(笑)。



【茨城県】和久健太(27) 17CROWN

最近、1.5センチほど車高を落とし、ツラウチ仕様に変更したそう。「この低さで、どこでも走るのが自慢」なんですって。かなり攻めたツラで、完成度は抜群だし、やっぱりクルマは乗ってナンボで、そういう姿勢もいい。ハイエース純正のガンメタも◎ですね。



エアロパーツはフロントがエイムゲイン加工、サイドリアがトップセンス加工。ホイールはプロフェッサーSP1の18インチで、足まわりはJIC車高調加工を装備している。インテリアも抜かりなく、自分色に染め上げている。

台目は200マジエ。「アピールポイントが分かりづらい加工です」と柿内クン。特に分かりづらいのがオバフェン。僕もびっくり純正だと思っていましたんですけど、実はF1.5センチ・R3センチの叩き出し。このお陰で9.5Jと10.5Jが入っているんですけど、見る人が見るとこういう所で気が付くんですよ。あれ、フェンダーやっつてる!」って。僕的には赤のワンポイントも上手いなって感心。ヘッドライトやホイールなど、全体を黒でまとめている

んですけど、ブレーキはさり気なく赤に。黒×赤は最強の組み合わせで、確実にブレーキが目が行く。その流れてホイールサイズを気付かせ、そして、実はオバフェンってことも気付かせるわけです。もし、そういったストーリーまで考えてやっていたとしたら、彼のセンスは侮れないなって思いました。次の17クラウンもセンスの高さを感じる一台。「VIPスタイルを読んで10年。今後も僕たちにVIPの良さを伝え続けてくだ

さい。そして、大盛りごはんは何杯でも食べられます!」ですって(笑)。ベイスはアスリートなんですけど、和久くんは高級志向で、パーツを全部ロイヤルに変更。逆は多いですけど、このパターンは結構珍しい。17系ってホンマに僕も好きで、シンプル仕様で、ベタッと落とすとカッコイイ。このクルマは正しく僕の好きな感じで、さすが10年も愛読し